

平成24年度 森プロ事業実績：可茂南部100年の森づくりプロジェクト（都市近郊林業）

（平成25年3月末現在）

	H20～23年度		H24年度				5カ年	
	計画	実績	計画	実績	達成率	備考	計画	
集約化(ha)	232.94	315	49.99	200	400%		283	
作業道(m)	19,600	20,375	5,400	7,425	138%	作業路含む	25,000	
間伐等	面積(ha)	181.55	132.38	39.06	88	225%	利用+切捨	221
	材積(m3)	4,349	3,454	897	1,793	200%		5,246
備考	団地外実績：利用間伐56.79ha 搬出材積1.852m ³ 作業路開設5.975m							

H24年度利用間伐等における所有者への還元額（補助金含む）

363 円/m³

施業集約化の状況

- ・平成22年4月30日に第2団地として説明会を実施した森林所有者とほとんど同じため、森林境界明確化加速化事業や森林整備地域活動支援交付金を活用し、継続して施業集約化を実施した。また、隣接する別の地区(モデル団地外)を取り込むため平成24年11月17日に説明会を開催した。

施業プランの活用状況

- ・未活用で作成中

施業プランナーの養成状況

- ・施業プランナー1名

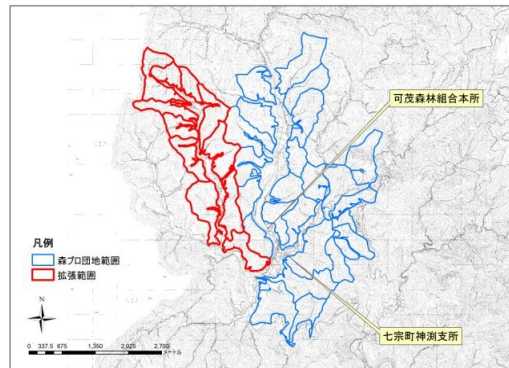


図-1 団地区域図

作業道の状況

- ・基幹作業道(W=3.5m,L=4,790m)と支線となる作業道と緊急管理路(W=3.0m,L=2,635m)を開設した。基幹作業道は主に尾根部分を中心に開設した。



図-2 基幹作業道(中切4号線)



図-3 支線作業道(緊急管理路)

作業システムの状況

- ・基幹作業道内
チェンソー(伐倒)→グラップル(集材)→チェンソー(玉切造材)→グラップル(積込)→トラック
- ・支線作業道内
チェンソー(伐倒)→グラップル(集材)→チェンソー(玉切造材)→フォワーダ「リース」(運搬)→トラック(積込・運搬)
- ・平成25年2月に高性能林業機械導入加速化事業を活用しプロセッサを導入した。



図-4 リースフォワーダによる運搬



図-5 導入したプロセッサ

その他

- ・役員会にて事業経過の報告を随時行い、組合だよりにて全組合員に定期的に事業の報告をしている。
- ・緊急雇用創出事業を活用し、境界調査と森林現況調査を実施した。

森プロの成果

- ・森プロ最終年ということだが、隣接する地区を取り込み、事業自体は今後も継続して実施する。
- ・森林組合合併から6年を経過し、各市町村や地区等に組合の事業がやっと浸透してきた。各地域によって、人工林や天然林の分布構成は異なるものの、行政や住民、組合員が望むような森林の役割や期待がある。これらが達成できるよう取り組む。

今後の課題

- ・木材市場の動向の注視
- ・森林施業地の施業プランの確立